

目指す学校像	確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人財を育てる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、心身ともに健全で思いやりのある生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携し、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	9名

学校自己評価							
年度目標			令和7年度評価(2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>現状</p> <p>生徒は積極的に授業に取り組んでおり授業内容も概ね理解している。保護者においても、本校の資格取得を中心とした学力向上への期待は高い。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組もうとする生徒の育成及び家庭学習の定着。 上位の資格取得が目指せる環境の充実。 ICTを活用した質の高い授業の工夫。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒に意欲を持たせるような授業の工夫及び授業以外での学習時間 検定合格者数 効果的なICTの利活用 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒自ら考え、表現するなど生徒主体の授業を展開し、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図る。 資格取得を奨励して、学習の動機付けを行い、より広範で高度な資格取得を目指す。 ICTやデジタル教材を活用し、わかる授業及び個別最適な学びに、力点を置いて取り組む。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業への取組状況や理解度等。(生徒アンケート) 各種検定の取得状況や生徒の満足度等。(普通教科も含む) 授業におけるコンピュータやタブレット等のICT機器利用の活用状況等。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の89.7%が、「授業の内容を理解できている」、また95.8%が、「授業に積極的に取り組んでいる」と回答している。 全商3科目1級の数は、全国でも上位となる見込みである。 1年生では、Goodnotesのアプリを用いた授業の実施、2・3年生は、Google ClassroomやGoogle Formsを活用した連絡や小テスト等を行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での学習について「あまり学習をしていない」「全く学習をしていない」と回答している生徒があわせて49%となっており、引き続きの課題である。勉強の楽しさや魅力を生徒に伝えていく必要がある。 タブレット(学習用端末)を活用した授業は展開できているので、今後は、生成AIや学習用アプリを活用した更に質の高い授業を展開する。
2	<p>現状</p> <p>登下校時の服装や交通マナーなど、地域住民からの評価が得られていない。</p> <p>学校運営に関して、生徒が主体的に関わる機会が少ない。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 登下校時の整容指導について徹底。 生徒会を中心とした生徒主体の学校運営。 	<ol style="list-style-type: none"> 登下校時や校内での服装マナーの向上 生徒の意見を反映した学校運営の実現 	<ol style="list-style-type: none"> 学校全体の取組として、登下校時や校内の服装マナーの向上を図る。また、生徒総会など、生徒に考えさせる機会を設ける。 生徒総会や学校評価懇話会において、生徒が学校運営に主体的に関われる機会を増やし、魅力ある学校づくりを推進していく。 	<ol style="list-style-type: none"> 登下校時や校内での服装マナーの状況把握(生徒アンケート)と保護者や地域住民からの評価等。 生徒意見を反映させた学校運営の実施等。 	<ol style="list-style-type: none"> 「校則に基づいた身だしなみがきちんとできているか」では、生徒の99%が当てはまると回答。保護者では、91%が生徒の規律に力を入れていると回答。 生徒会からの要望等により、学校指定セーターの導入を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故(車との接触)が増加しており、交通安全教育にも今後は力点を置く必要がある。 生徒会を中心とした生徒主体の学校運営を引き続き行っていく。
3	<p>現状</p> <p>生徒、保護者ともに進路実現に関しての満足度は高い。</p> <p>就職よりも専門学校を含めた進学を選択する生徒が多くなっている。</p> <p>四年制大学への進学や公務員等への就職も着実に増えている。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年次からの進路意識の醸成。 キャリアノートの活用状況の向上。 組織的かつ体系的な進路指導。 	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス機能の強化 キャリアノートの活用 生徒の進路希望に寄り添った進路指導の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 外部講師を招いたキャリア教育を実践するなど、ガイダンス機能を強化し、進路意識の醸成を図る。 すべての学年においてキャリアノートの活用を促す。 教員の指導力向上と生徒及び保護者の意向を踏まえた進路指導。 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会の実施状況や進路意識の向上等。 キャリアノートの活用状況等。(生徒アンケート) 生徒及び保護者の満足度調査等(アンケート等)。 	<ol style="list-style-type: none"> 3 外部講師や企業の若手社員や卒業生との交流会等を実施し、進路意識の向上が図られている。91%の生徒及び95%の保護者が、本校の進路指導に満足している。 3年生では、82.7%の生徒が、キャリアノートを有効に活用していると回答している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師の活用や企業の方との交流を通して、継続的に進路意識の醸成を図っていく。 キャリアノートの有効性や効果的な活用方法を検討し、生徒の進路意識の醸成に努める。
4	<p>現状</p> <p>PTA、後援会、同窓会及び地域や企業との連携は十分に行うことができている。学校ホームページなど定期的に更新し、学校の取組を発信している。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生や保護者に、本校の教育内容や商業の魅力を伝えるための戦略的な情報発信。 地域のイベントや地元企業と連携した教育活動の充実。 PTA、後援会、同窓会と連携した教育活動の充実。 	<ol style="list-style-type: none"> 教育内容の効果的な情報発信 地域の官民学との連携強化 PTA、後援会、同窓会等との連携強化 	<ol style="list-style-type: none"> 県のSNSなどを活用した戦略的な情報発信及び広報活動の充実を図る。 県や深谷市、県内企業や大学、専門学校と協働した事業を展開する。 PTAや後援会・同窓会と連携しながら、保護者の信頼に応える学校づくりに努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校説明会や体験入学の満足度調査(アンケート等)や参加状況等。 地域や企業との連携や地域に関係する行事、近隣学校との連携等。 PTAとの連携行事の満足度調査(保護者アンケート等)や後援会・同窓会との連携行事等。 	<ol style="list-style-type: none"> インスタグラムを開設し、学校行事等の発信を積極的に行なった。学校説明会や体験入学の満足度は高かった。 深谷市青年会議所主催のイベントや地域ボランティアの活動への参加、地元企業と協同で商品開発を行った。 約90%の保護者が「本校のPTA活動は親しみやすく、学校との連携がなされている」と回答している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、戦略的な情報発信及び広報活動を行っていく。 地域や企業との連携や地域に関係する行事、近隣学校との連携等を積極的に図っていく。 交通安全指導や文化祭、研修旅行等、PTA行事に積極的に参加する機会を設け、学校の理解及び協力体制を高める。

学校関係者評価	
実施日	令和8年2月5日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・生徒のおよそ9割が、「授業の内容を理解できている」と回答しているのは、教職員が生徒一人ひとりに向き合い、熱心に教育してくれているからだと思う。	
・今年度も、全商3科目1級の数が、100名を超えることは、先生方の熱意と生徒の頑張りの成果である。	
・授業に積極的に取り組んでいる生徒が95.8%に達する一方で、家庭での学習について「あまり学習をしていない」生徒も多い。家庭学習を増やすために、工夫改善に取り組んでほしい。	
・学校内において、率先して挨拶をしてくれるのは、大変好感が持てる。	
・生徒の身だしなみについては、目立って乱れていないので、アンケートの結果のとおり、校則が順守されているものであると評価できる。	
・学校指定セーターの導入など、意見が反映され実行されているものもあるので、引き続き、生徒主体の学校運営を行ってほしい。	
・多種多様な資格を有し、卒業する生徒は多くの可能性があり、進路も様々である。今後も、外部講師や企業の若手社員を活用した進路ガイダンスを実施し、生徒の進路の幅を広げてほしい。	
・3年生の82.7%がキャリアノートの有効性を実感しているため、今後は1・2年生のうちから、キャリア形成の意識を高めるために、キャリアノートの活用支援を強化してほしい。	
・学校ホームページやインスタグラムなどで、十分な情報発信がなされている。	
・地元企業と共同で開発した「商品開発」や地域ボランティア活動への参加は、商業高校としての特色を活かした素晴らしい取組である。	
・保護者からPTA活動に対する評価が良く、学校と家庭との信頼関係が、非常に良好であると感じられる。	